

吉祥院地域において「吉祥院子ども六齋会」が発足されて、六齋念仏の担い手育成が図られている。地元以外の子どもの参加もあり、活動が以前より活発になっている。これには吉祥院地域の伝統芸能として、地域の誇りを再認識

吉祥院 子ども六齋会の取組

地域の伝統芸能×担い手の課題

し、より前向きに伝承してきたこともプラスにはたらいたいようである。近年、子どもたちが育成して行く中で、年代を異にする人たちとの出会いが極端に少なくなっている。子どもたちが生活時間を費やすのは学校や塾、そしてクラブ活動である。これらは限られた大人を除いて同年齢の集団であり、学校卒業後の社会への不適用もここに大きな問題があると指摘されている。また、例えば同年齢の付き合いであっても、携帯電話のメールやライン等での短い言葉や、絵文字だけでは、真の人間関係が深まらず、誤解を生み出しめや仲間外れにつながっていることも多いという。

このような社会状況の中、何が出来るのかそのヒントのひとつは、地域の子どもたちと一緒に取り組む協働体のあり方にあると考えている。もし地域に子ども

会報
獅子の如く
ししのごとく

2021年4月25日
第23号 地域版
発行
獅子の如く編集部

発行責任者 木村信彦
編集 部 清水美優
監 修 石田房一



子ども六齋会 四ツ太鼓 (吉祥院天満宮)

人間教育の場

たり、一緒に何かに取り組むことが、人と人の人間関係を深め、絆を強めたりする。

地域で暮らしている以上、どこかで必ず顔を合わせざるはず。最初はあいさつをかわす程度であっても、後々大きな意味を持つてくるに違いない。また、六齋念仏を伝える人た

それだけにやり遂げた充実感や喜びも大きいと言える。その中で大切なことは、例えば月に数時間程度の練習を通じて取組であつても、そのことがもたらす子どもたちへの影響は極めて大きい。

これは継承するのは大変ではあるが、

や青少年を含めて、協働で取り組むものがあるなら、それは大きな人間関係づくり、つまり「人間教育」の場となるのではないだろうか。

当研究会会報「獅子の如く」は、吉祥院天満宮の大祭（四月二十五日、八月二十五日）の六齋奉納に合わせて配布してまいりますが、令和二年八月より、地域限定版として発行することにいたしました。

吉祥院六齋念仏の歴史や魅力を地元の皆さんに知っていただくために、

コラム まつりの思い出

これは地域の伝統芸能を通じて、地域コミュニティをより深めていただくことを目的として企画しています。二面には特集企画「まつりの思い出」を標題としたコラム欄を設けました。ご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

【広報】

ちは、様々な職業や年齢層の人たちからなる上に、子どもたちを立派に導ける人たちのそろった集団でもある。

社会で活躍している人やいろいろな方面で努力してきた人たちとの出会いは、子どもたちにとって必ずプラスになる。

吉祥院地域の伝統芸能である「六齋念仏」の継承のみならず、これからの社会を担う子どもたちの「人間教育の場」としても、「吉祥院子ども六齋会」の活動

にこれからも大いに期待を寄せたい。

吉祥院六齋念仏踊り 重要無形民俗文化財

子ども六齋会の練習日

- 日時：毎月第2金曜日・第4金曜日
午後7時から午後8時30分
- 場所：吉祥院ふれあいサロン
- 指導：吉祥院六齋保存会
吉祥院六齋歴史研究会

※コロナ感染拡大の為 練習会の日時等は確認してください。

第1回 ヘアーサロントコロ
オーナーの所敏之さんに『まつりの思い出』の執筆をお願い致しました。【2面掲載】





所敏之さん

私は、一九五八年(昭和三十三年)生まれの六十二歳です。小学校の頃の祭りの思い出は、三十年前に住んでいた「北区紫野」にある玄武神社の「玄武やすらい祭り」と今宮神社の神幸祭「おいでまつり」、還幸祭「おかえりまつり」です。

まつりの思い出

ヘアサロン **トコロ** 所敏之さん
 南区吉祥院這登東町37-3 ☎ 075-672-0340



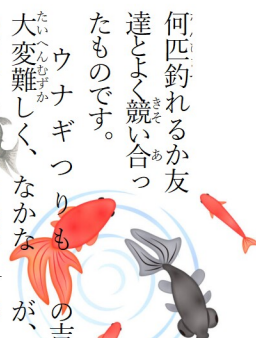
奥多賀様の子

祭は、四月の「玄武神社」と五月の「今宮神社」ですが、四月には、祭りの稽古の行列の笛や鐘の音色が町内に響き、祭りの季節を感じていた事を思い出します。

玄武神社の西側に今宮神社の御旅所があり、五月五日から十日間は「おいでまつり」で地域が賑やかに、古本市、植木市、瀬戸物市等のお店や、子どもたちが遊ぶゲーム、タコせんべい、餛飩、型抜き等々、今思い出すどれも楽しく懐かしく思います。

その花笠に入ると悪霊、疫病を取り払うと言い伝えがあり、町内の皆さんが花笠に入っている

光景が思い浮かびます。小学生の頃は、夜店、縁日屋台が楽しみでした。



私は、一九九一年(平成三年)一月に吉祥院に移住し、理容店を営んでいます。



何匹釣れるか友達とよく競い合ったものです。ウナギつりも大変難しく、なかなか釣れませんでしたが、釣るという事が自分にとって非常に楽しかったのですね。

今は見かけなくなりましたが、見世物小屋で若い女性(蛇女)が蛇を口で銜え、口から蛇を入れて鼻から蛇を出すとか、ろくろ首など子どもながらに衝撃でした。どれも懐かしいものばかりで、当時、地域の方が祭りの期間中に集まり、会話が弾み、「おいでまつり」の十日間は楽しかったことでしょう。

お店の紹介……

ヘアサロントコロ

ヘアサロン「トコロ」は、京都市南区吉祥院這登東町にあるヘア＆リラクゼーション。お店では、シエーピングの他に眼の疲れている方に大人気な指圧エステや、リフトアップ

お気軽にご相談ください。

「コロナ感染対策として、隣の席との間に仕切りを設けるなど、お客様の目を気にすることなく施術を受けることができます。

朝九時から夜七時まで営業していますので、お仕事帰りでも立ち寄れるところも嬉しいポイントです。プロが行うシエーピング等、あなたも一度試してみませんか。

ヘアサロン **Tokoro**
 ☎ 075-672-0340

その年から四月二十五日、八月二十五日の吉祥院天満宮の祭りが、私にとって地元の祭りになりました。

四月には、子ども神輿を地元の小学生が引き、ピービートンと調子を合わせ、地域を回り、私の店の前で少し休憩され、人がたくさん集まり、祭りの雰囲気は店の前に広がり、毎年の楽しみです。

夜には、吉祥院天満宮に縁日が出店し、境内では、国の重要無形民俗文化財である「吉

祥院六斎念仏踊り」が奉納され、祭りを盛り上げていく様子が見えます。

私の娘は、当時六歳と三歳でしたが、吉祥院天満宮の祭りが私の小学生の時の思い出と同様、思い出となっています。

現在、コロナ禍で祭りやイベント等が延期や中止になり、大変な時期になっています。

人の絆、地域の活性化、コミュニケーション等、いい思い出になるように少しでも早く皆さんが安心して、祭りやイベントが開催できるようお願いいたします。

【玄武神社】
 北区紫野雲林院町八八
 【アクセス】
 市バス「堀川鞍馬口」下車、徒歩
 市バス「大徳寺前」下車、徒歩五分



玄武神社